

## 2025 年度春季大会報告

### チャレンジ支援委員会「わかばさんいらっしやい」報告書

チャレンジ支援委員：天野、香月、末松、杉本、高橋、吉川

2025 年 5 月 24 日(土) 12:00-13:00 オンライン開催

「わかばさんいらっしやい」が大会1日目の12:00-13:00にオンラインで開催されました。初めて大会に参加する方などを「わかばさん」と称し、大会参加の不安を取り除き、大会を楽しむコツを押さえ、「わかばさん」同士のネットワークを築く機会の提供を目的に行いました。

4月下旬からYouTubeで「わかばさん」向けのオリエンテーション動画を公開し、大会の概要、参加登録の方法、視聴する発表の選び方、予稿集の活用、質問の方法などについて、「わかばさん」に紹介しました。この動画は大会開始までに198回再生されました。

大会当日は、日本語教育に関わり始めたばかりの方や、大会参加が初めての方、研究を始めたばかりの方など、9名の「わかばさん」が参加してくださいました。まず、事前動画の内容を簡潔に復習した後に、質疑応答の時間を設けました。

その後、参加者は3名ずつのグループに分かれて「わかばさん交流会」を実施しました。約25分間、大会参加の目的、一番聞きたい発表、現在取り組んでいる研究テーマや教育実践上の疑問、大学院進学について、就職のことなど多岐にわたる話題について語り合いました。大学院生をはじめ、民間の教育機関にお勤めの方、大学の学部生の方など、多様な背景をお持ちの方が集まり、対等な関係で意見交換や情報共有を行いました。予定時刻終了後、追加でお話する時間を20分ほど用意しましたが、最後まで熱心にお話していた参加者の方もいらっしやいました。

「わかばさん交流会」について参加者による事後アンケートでは、「気楽に日頃の日本語指導の疑問点などを話せることができた」「日本語教師としての進路など個人的な悩みを相談できた」のように、個人的な迷いや疑問点について話せたというご意見、「委員の方が、大会や交流広場について説明して下さって、わかりやすかった」「全員が初心者なので、関係者の方が入って下さって、いろいろ伺えたのはよかった」のように、大会自体についての理解が深まったというご感想をいただきました。また、「限られた時間のなかと考えれば交流できたと思うが、もっと機会がほしいので対面での会に期待したい」のような、交流の機会を設けることの意義についてのご意見もいただきました。一方で、交流の際の人数や話題の調整、一般公開プログラムとの時間の調整についてのご意見をいただきました。これらは、次回以降の検討課題とさせていただきたいと思います。



アンケートの自由記述の中に、「初めて参加したので、わからないことが質問できてよかったです」というものがありました。今回は、大会自体についても多くのご質問をいただきました。このような「わかばさん」の不安や疑問に答えつつ、学会参加へのチャレンジを少しでもサポートできるよう、委員一同頑張っていきたいと思います。